

経営幹部が主導する“アフターコロナ戦略”

利益を創り出す 受注型企業の設計改革

この時をむしろ変革のチャンスと捉え、未来の企業を描き、挑戦する！

新型コロナウイルスの影響で多くの企業では受注が減少しております、一方コロナ後に競合との戦いで受注を勝ち取り、利益を上げる好機とも言えます。製品の品質とコストは設計段階の取組みで80%が決まるなか、設計部門は恒常的に忙しく「負のスパイラル」に陥り、利益を喪失しているケースが散見されます。この窮状から脱出し、生き残りを賭けた改革には経営幹部の強力なイニシアティブが必要です。本セミナーでは受注型企業の「設計開発力」強化の改革取組みについて、課題解決手法と最新の具体的事例を交えてご紹介致します。

講演内容

- なぜ個別受注型企業の設計部門は忙しいのか
- 未来と利益を獲得する設計開発の進め方
- やる気を引出す活動の仕組み
- 収益目標を阻害するQCD各観点の課題と原因
- 設計開発力強化の改革手法とその具体的事例
- コロナ後の新コンカレント設計手法とは？

開催要領

- 日時：2020年7月15日（水）
13:00～16:00（受付12:45～）
- 会場：AP新橋（JR新橋駅 銀座口から徒歩1分）
- 受講料：10,000円（税込）
- 定員：20名
- 対象：経営者・設計幹部限定
- *会場の消毒、間隔をあげた座席配置、講師やスタッフのマスク着用、手洗いを徹底させます。

講師紹介

執行役員
東日本カンパニー長 **大野 浩行**

マネジメント
コンサルタント **柴田 明尚**

総合電機メーカー及び食品メーカーにおいて、収益向上プロジェクト、新製品垂直立上げPJリーダーとして早期に工場利益拡大とその体質改革を実現。設計開発～製造を通じた課題解決力が豊富。品質強化、コストダウン、納期短縮、生産性向上活動を通しての意識改革と経営数値を変える体質強化コンサルティングは顧客から高い評価を得ている。



大手自動車メーカーにて車体の新規開発PJリーダーを歴任。その間、設計開発プロセス改革に取り組みながら開発PJのQCD取り纏めを手掛ける。その後、外資系大手PLMベンダーのコンサルタントとして、製造業界の設計開発部門に対する業務プロセス改革に携わる。これらの経験を基に多くの製造業設計部門の業務改革を支援している。



お申し込みはこちら **FAX: 03-3262-0277** or <https://www.tmng.co.jp>

下記申込書にご記入の上、FAXまたは弊社HPよりお申し込みください。HPからのお申込みいただくと**受講料2割引き**とさせていただきます

貴社名				TEL	-	-
事業所在地						
参加者名	ふりがな	所属部署			E-mail	
	お名前	役職名			E-mail	
参加者名	ふりがな	所属部署			E-mail	
	お名前	役職名			E-mail	
窓口担当者 (請求書送付先)	所属部署				E-mail	

お申込みいただいたお客様の個人情報は、細心の注意を払い管理させていただきます。ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本セミナーに関する確認、連絡等、および当社の各種サービスに関する情報、ご案内の提供等に使用させていただきます。ご了承の程、よろしくお願ひ申し上げます。